

【H28年度日本医療研究開発機構(AMED)研究費】(臨床研究・治験基盤事業部 臨床研究課)

【公募締め切り・事業紹介リンク先】

「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業

平成28年1月20日(水)【正午】(厳守)

○提出方法：e-Rad及び郵送

<http://www.amed.go.jp/koubo/050120151214.html>

【公募課題概要】

	研究費(年間) (間接経費を含む)	研究期間	採択件数	公募する研究内容、求められる成果等
「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業				
1. 漢方に関する科学的知見を創出するための研究				
漢方に関する科学的知見を創出するための研究	最大5,000千円程度	1年間 *複数年可	2課題程度	<p>「目標」 統合医療における漢方に関して、特に安全性・有効性等の観点から科学的根拠に基づき、新たな知見を創出する。</p> <p>「求められる成果」 統合医療における漢方に関する新たな知見の整理(特に「誰が、どのような属性を持った対象者(患者・国民)に、どの療法を用いて、その結果どうなったのか」等)。</p> <p>「採択条件」 (a)主として、統合医療の専門家が研究全体を統括すること (b)研究を実施するための施設・設備が整備されていること</p>
2. 鍼灸に関する科学的知見を創出するための研究				
鍼灸に関する科学的知見を創出するための研究	最大5,000千円程度	1年間 *複数年可	2課題程度	<p>「目標」 統合医療における鍼灸に関して、特に安全性・有効性等の観点から科学的根拠に基づき、新たな知見を創出する。</p> <p>「求められる成果」 統合医療における鍼灸に関する新たな知見の整理(特に「誰が、どのような属性を持った対象者(患者・国民)に、どの療法を用いて、その結果どうなったのか」等)。</p> <p>「採択条件」 (a)主として、統合医療の専門家が研究全体を統括すること (b)研究を実施するための施設・設備が整備されていること</p>
3. 漢方及び鍼灸を除く各種療法に関する科学的知見を創出するための研究				
漢方及び鍼灸を除く各種療法に関する科学的知見を創出するための研究	最大5,000千円程度	1年間 *複数年可	2課題程度	<p>「目標」 統合医療における漢方及び鍼灸を除く各種療法に関して、特に安全性・有効性等の観点から科学的根拠に基づき、新たな知見を創出する。</p> <p>「求められる成果」 統合医療における漢方及び鍼灸を除く各種療法に関する新たな知見の整理(特に「誰が、どのような属性を持った対象者(患者・国民)に、どの療法を用いて、その結果どうなったのか」等)。</p> <p>「採択条件」 (a)主として、統合医療の専門家が研究全体を統括すること (b)研究を実施するための施設・設備が整備されていること</p>
4. 「統合医療」に関する科学的知見を創出するための安全性・有効性等の評価手法に関する研究				
「統合医療」に関する科学的知見を創出するための安全性・有効性等の評価手法に関する研究	最大5,000千円程度	1年間 *複数年可	4課題程度	<p>「目標」 統合医療については、多種多様であり、科学的根拠が乏しいものが含まれているとの指摘もあることから、安全性・有効性等の評価手法に関し、科学的根拠に基づき新たな知見を創出する。</p> <p>「求められる成果」 統合医療についての安全性・有効性に関する新たな評価手法の整理(特に「誰が、どのような属性を持った対象者(患者・国民)に、どの療法を用いて、その結果どうなったのかについて評価を行う手法」等)。</p> <p>「採択条件」 (a)主として、統合医療の専門家が研究全体を統括すること (b)研究を実施するための施設・設備が整備されていること</p>
5. 「統合医療」についての、患者・国民及び医師の適切な選択に資するような情報発信のあり方についての研究				
「統合医療」についての、患者・国民及び医師の適切な選択に資するような情報発信のあり方についての研究	最大10,000千円程度	1年間 *複数年可	1課題程度	<p>「目標」 統合医療は、近代西洋医学と相補(補完)・代替医療や伝統医学等とを組み合わせる療法であり、多種多様なものが存在する。そのため、各種相補(補完)・代替療法や伝統医学に関して、現時点で明らかになっている科学的な情報をわかりやすく整理し、国民に提供する。</p> <p>「求められる成果」 統合医療の各種療法についての国内外の既存研究文献のレビュー結果が提示され、適切な情報発信のあり方についての提言などがされる。</p> <p>「採択条件」 (a)主として、統合医療の専門家が研究全体を統括すること (b)研究を実施するための施設・設備が整備されていること</p>

6. 「統合医療」の各種療法について、国内外での利用実態や健康被害の状況などの実態把握に関する研究				
「統合医療」の各種療法について、国内外での利用実態や健康被害の状況などの実態把握に関する研究	最大10,000千円程度	1年間 * 複数年可	1課題程度	<p>「目標」 西洋医学の概念のみには依存しない、安全性や有効性が確立された日本の伝統医療や伝統文化・習慣を活用した統合医療の概念を整理するため、WHOにより定義された「健康の社会的決定要因」も踏まえ、国内外での統合医療の利用実態や健康被害状況等について、包括的に現状把握を行う。</p> <p>「求められる成果」 時代に応じた医療機関による患者への統合医療の施術状況や情報提供、統合医療の各種療法の患者や国民の利用実態・健康被害・認識及び期待等のそれぞれに関して各種療法が適切に選択されるようにするための基礎資料を作成し、日本の統合医療に関する概念の試行的提示や「健康の社会的要因」への寄与のあり方についての提示を可能とする。</p> <p>「採択条件」 (a) 主として、統合医療の専門家が研究全体を統括すること (b) 研究を実施するための施設・設備が整備されていること</p>
7. 「統合医療」の国際標準化などの基盤整備に関する研究				
「統合医療」の国際標準化などの基盤整備に関する研究	10,000～20,000千円程度	1年間 * 複数年可	1課題程度	<p>「目標」 統合医療について、これまでの国際的な動向を踏まえつつ、国際標準化を扱うISO 技術委員会 (ISO-TC249) に対応するための知見を整理する。</p> <p>「求められる成果」 統合医療の各種療法について、その用語や企画、診療方法等の国際標準化に対応できるための課題及びその対応策が整理される。</p> <p>「採択条件」 (a) 主として、統合医療の専門家が研究全体を統括すること (b) 研究を実施するための施設・設備が整備されていること (c) ISO技術委員会 (TC/249) への国際的な対応の債務を果たせること</p>